

# 平成19年度決算 一般会計の特徴を数字で見る

**余力 0.773**

[財政力指数]  
財政力の強さをはかる指標で「基準財政収入額÷基準財政需要額」の3カ年の平均値を用います。  
前年度比 0.015ポイント上昇

**自立力 61.0%**

[自主財源比率]  
自主的に収入とすることができるお金の比率で、行政活動の自主性と安定性の尺度とも言えます。  
前年度比 6.0ポイント上昇

**借金 10.0%**

[公債費比率]  
公債費の占める割合で、この比率が高くなると他の事業に充てる財源を圧迫することになります。  
前年度比 0.3ポイント減少

**弾力 82.9%**

[経常収支比率]  
義務的経費を毎年継続して入る収入総額で割ったもので、値が低いほど弾力性があると言えます。  
前年度比 1.6ポイント減少

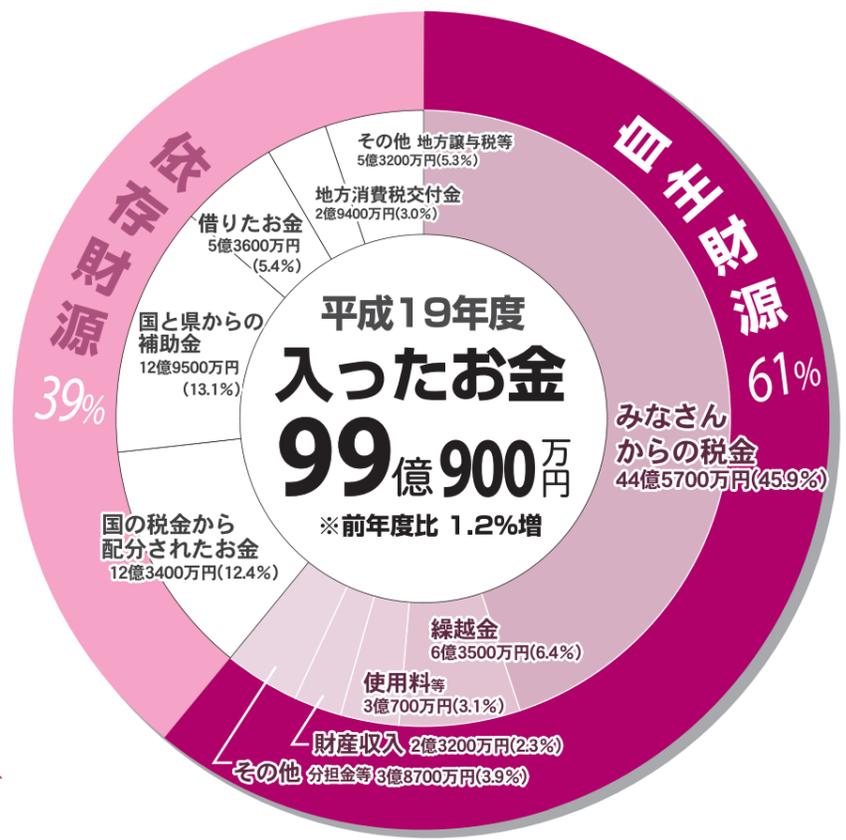
## [一目瞭然！町の財政状況]

単年度では  
**4億**  
1600万円の**黒字**  
※繰越金 約2800万円を含む

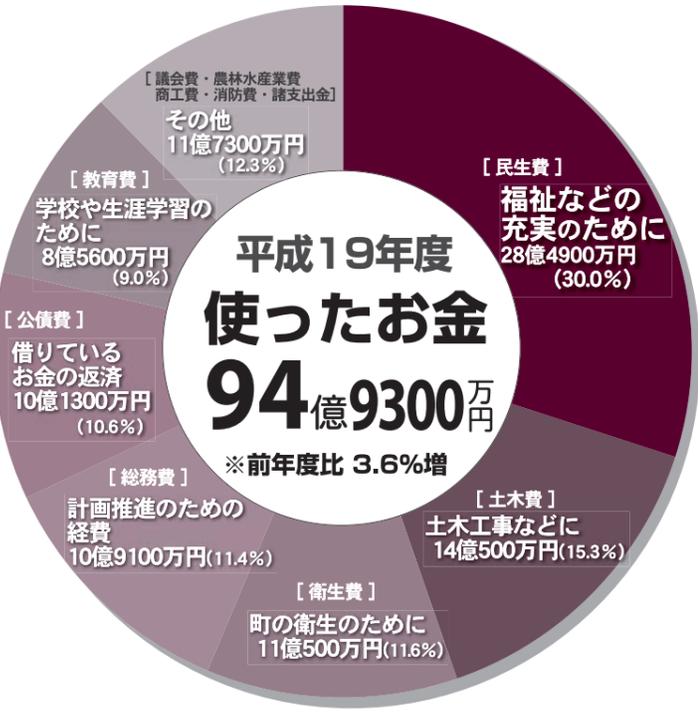
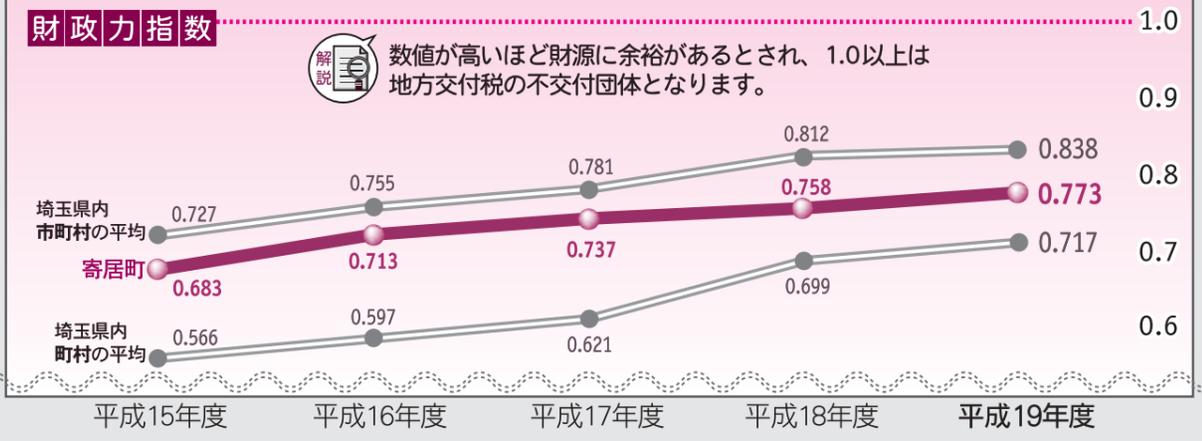
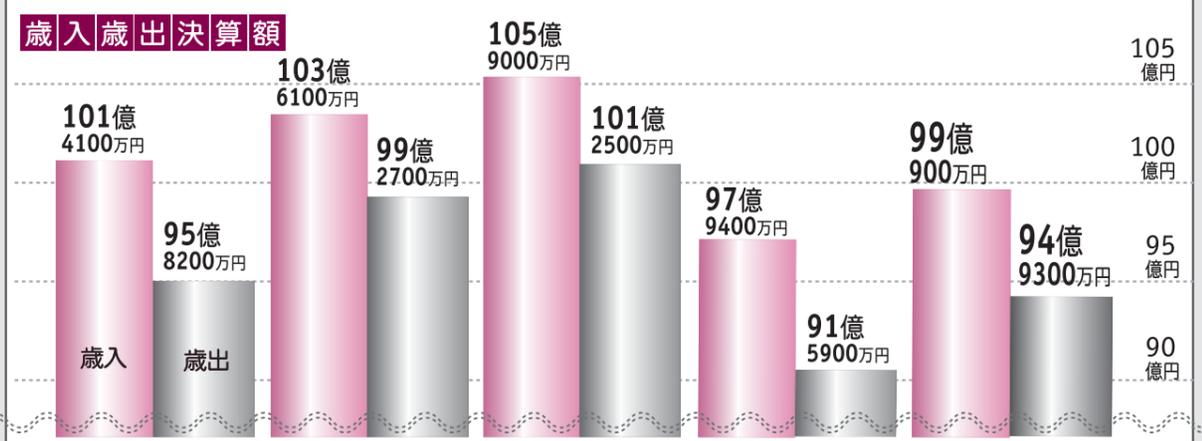
### 入ったお金の構成を見ると…

入ったお金を財源の構成上からみると、「自主財源」が61%で前年度を6ポイント上回り、また国県支出金等の「依存財源」は39%と、前年度を6ポイント下回っています。  
一般的に、自主財源の確保と強化によって町の自立性が高められると言われることから、こうした傾向を維持することが理想だと言えます。

※金額は100万円未満の計算方法により、合計額が一致しない部分があります。



### 過去5年間の推移は…



### 使ったお金を性質別に見ると…

